

再生医療学会総会，東京，2009年3月6日，再生医療 8 (suppl) : 195, 2009.

- 3) 布施一郎，川瀬知之，川嶋香代子，梶 昌美，小神晴美，瀧澤 淳，中田 光，奥田一博，吉江弘正：診察室設置型簡易細胞プロセッシングキャビネット作成の試みと無菌環境に関する検証. 日本再生医療学会総会，東京，2009年3月6日，再生医療 8 (suppl) : 265, 2009.
- 4) 奥田一博，山宮かの子，川瀬知之，畠賢一郎，吉江弘正：培養骨膜シート+多血小板血漿+多孔性ハイドロキシアパタイト顆粒の歯周骨内欠損に及ぼす効果—臨床比較研究：1年予後. 第21回日本歯科医学会総会，横浜，2008年11月14-16日，日本歯科医師会雑誌 61 (5) : 510, 2008.
- 5) 川瀬知之，奥田一博，小神浩幸，永田昌毅，吉江弘正，児玉 亮：コラーゲン特殊コートしたePTFEメッシュを用いたヒト骨膜シートの3次元培養. 2008年10月19日，四日市，日本歯周病学会誌 50巻秋季特別：115, 2008.
- 6) 山宮かの子，奥田一博，川瀬知之，吉江弘正：培養骨膜シート+多血小板血漿+多孔性ハイドロキシアパタイト顆粒の歯周骨内欠損に及ぼす効果—臨床比較研究：1年予後. 平成20年度新潟歯学会第一回例会，新潟，2008年7月19日，新潟歯学会誌 38 (2) : 72, 2008.
- 7) 川瀬知之，小神浩幸，小神晴美，中山 均，奥田一博，吉江弘正：生体活性セラミックス封入パウチによる培養骨作製と異所性骨形成誘導. 平成20年度新潟歯学会第一回例会，新潟，2008年7月19日，新潟歯学会誌 38 (2) : 74, 2008.
- 8) 川瀬知之：生体活性セラミックス封入パウチによる培養骨作製と異所性骨形成誘導. 第7回産学官連携推進会議，京都，2008年6月13-15日.
- 9) 山宮かの子，奥田一博，川瀬知之，畠賢一郎，Larry F. Wolf，吉江弘正：培養骨膜シート+多血小板血漿+多孔性ハイドロキシアパタイト顆粒の歯周骨内欠損に及ぼす効果—臨床比較研究：12か月予後. 第128回日本歯科保存学会春季学術大会，新潟，2008年6月5-6日，日本歯科保存学雑誌 51巻春季特別号：42, 2008.
- 10) 中山均，小神浩幸，竹内由一，永田昌毅，川瀬知之：骨シンチグラフィによる培養骨の骨誘導活性評価の試み—I. ポジティブコントロールの確立—. 第41回新潟歯学会総会，新潟，2008年4月26日. 新潟歯学会誌 38 (1) : 50, 2008.

【シンポジウム】

- 1) 川瀬知之：再生医療産業の今後の可能性. 第3回新潟細胞再生療法シンポジウム，新潟市，2008年10月24日.

【受賞】

- 1) Kawase T, Okuda K, Kogami H, Nagata M, Nakata K, Yoshie H: Evidence to support the clinical application of cultured human periodontal sheets: Evaluation of its bone-forming potential. The 94th Annual Meeting of the Amer. Acad. Periodontol, Research Forum Award, Poster session, Basic Research. 2008.9.8.

【出願】

- 1) 国内特許出願：川瀬知之（出願人：新潟大学）「リン酸カルシウム系顆粒上での効率的3次元高密度培養による培養人工骨およびその作成方法」（特願2008-152978）.
- 2) PCT出願：川瀬知之，奥田一博（出願人：新潟大学）「ヒト骨膜培養方法」（PCT/JP2008/65050）.

生体材料学分野

【著書】

なし

【論文】

- 1) Shimizu H, Inoue S, Miyauchi H, Watanabe K, Takahashi Y: Mould filling of Ag-Pd-Cu-Au and Ag-Zn-Sn-In alloy castings made using a rapidly prepared gypsum-bonded investment material. Eur J Prosthodont Restor Dent 16(4): 177-180, 2008.
- 2) Okawa S, Watanabe K: Chemical mechanical polishing of titanium with colloidal silica containing hydrogen peroxide - mirror polishing and surface properties. Dent Mater J 28(1): 68-74, 2009.

- 3) Watanabe K, Okawa S, Kanatani M, Homma K: Surface analysis of commercially pure titanium implant retrieved from rat bone. Part I: Initial biological response of sandblasted surface. Dent Mater J 28(2): 178-184, 2009.
- 4) 渡辺孝一：ICP-MSの特徴と応用(ICP-MS: its characteristics and applications). 新潟歯学会雑誌, 38 (1), 25-26, 2008.

【商業誌】

なし

【研究費獲得】

- 1) 大川成剛：極性交互反転電解法によって生成した機能性酸化皮膜と析出するナノ粒子の化学的性状. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20592298, 2008.
- 2) 金谷 貢：超高熱伝導により高温反応をほとんど抑制するチタン用ハイブリッド鋳型材の開発. 平成 20 年度科学研究費応募支援経費, 2008.
- 3) 野村章子, 金谷 貢：低エネルギー電子線は超高齢社会での補綴物の安全性を向上し滅菌コストを削減する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 20390495, 2008.
- 4) 木村勇雄, 金谷 貢：インプラント術後骨形成促進を指向するヒドロキシアパタイト壁マイクロカプセルの調整. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 18560666, 2008.
- 5) 坪川紀夫, 金谷 貢：ナノ・バイオハイブリッド化医用材料化学に関する基盤研究. 新潟大学プロジェクト推進経費, 2008.
- 6) 渡辺孝一：医療機器の表面分析助成, 奨学寄附金, 瑞穂医科学株式会社, 2008.

【招待講演・シンポジウム】

なし

【学会発表】

- 1) Kanatani M: Feasibility of titanium casting using hBN ceramic with high thermal conductivity. 4th International congress of dental technology, Osaka, Japan, Nov. 21, 2008, Journal of Nippon Academy of Dental Technology, 29(Special Issue): 228, 2008.
- 2) Kimura I, Kawaguchi T, Tanaka T, Taniguchi M, Kanatani M: Titanium implant coated with hydroxyapatite microcapsules and poly(L-lactic acid) releasing an antimicrobial agent. AIChE 2008 Annual Meeting, Philadelphia, PA USA, Nov. 19, 2008, AIChE 2008 Annual Meeting, 571 al, 2008.
- 3) 大川成剛, 金谷 貢, 渡辺孝一：電解重合法による有機薄膜のチタン表面へのコーティングー陽極酸化と有機薄膜の特性ー. 第 22 回歯科チタン学会学術講演会, 東京, 2009 年 2 月 15 日, チタンと歯科臨床, 7 (1) : 31 頁, 2009.
- 4) 金谷 貢, 飛田 滋, 岡田直人, 若杉順一, 田之口克規：歯科技工の重要ポイントの共有化 - 石膏模型の製作 - . 第 4 回国際歯科技工学術大会, 大阪, 2008 年 11 月 21 日, 日歯技工誌, 29 (特別号) : 248 頁, 2008.
- 5) 伊藤圭一, 野村章子, 石川俊一, 佐野裕子, 花田晃治, 金谷 貢, 野村修一：高齢者や有病者に安全な義歯を提供するための低エネルギー電子線の利用. 第 21 回日本歯科医学会総会, 横浜, 2008 年 11 月 15 日, 日歯医師会誌, 61 (5) : 128 頁, 2008.
- 6) 大川成剛, 本間喜久男, 金谷 貢, 渡辺孝一：リン酸カルシウム水溶液中での極性反転によるチタンの陽極酸化 - 陽極酸化時の電流密度が析出する結晶相とその大きさにおよぼす影響 - . 第 52 回日本歯科理工学会学術講演会, 大阪, 2008 年 9 月 21 日, 歯材器, 27 (5) : 418 頁, 2008.
- 7) 金谷 貢, 大川成剛, 渡辺孝一, 堀田憲康, 木村勇雄, 小林正義：金属微粒子の到達高さを傍証として用いた歯科診療室内における粉塵の挙動. 第 52 回日本歯科理工学会学術講演会, 大阪, 2008 年 9 月 20 日, 歯材器, 27 (5) : 382 頁, 2008.
- 8) 川口峻範, 木村勇雄, 柄崎和彦, 高橋真記, 田中孝明, 谷口正之, 金谷 貢：抗菌剤含有ヒドロキシアパタイト中空球状粒子被覆チタンインプラントの作製. 化学工学会新潟大会 2008, 新潟, 2008 年 8 月 21 日, 化学工学会

新潟大会研究発表講演要旨集, 58 頁, 2008.

- 9) 本間喜久男, 大川成剛, 金谷 貢, 渡辺孝一: 水酸化カルシウム溶液中での矯正用 Ni-Ti ワイヤの陽極酸化. 第 51 回日本歯科理工学会学術講演会, 鶴見, 2008 年 4 月 27 日, 歯材器 27 (1): 197 頁, 2008.
- 10) 大川成剛, 本間喜久男, 中野周二, 金谷 貢, 渡辺孝一: 極性反転による Nb, Ta と Zr の陽極酸化-電解液の pH が析出するリン酸カルシウムの形態におよぼす影響-. 第 51 回日本歯科理工学会学術講演会, 鶴見, 2008 年 4 月 26 日, 歯材器 27 (1): 144 頁, 2008.

【研究会発表】

- 1) 金谷 貢: 歯科技工に関するワークショップのコーディネーターおよびファシリテーターを務めるための基礎的知識と留意点 2009. 厚生労働省後援歯科技工士生涯研修課程・新潟県歯科技工士会新潟支部学術研修会, 新潟, 2009 年 3 月 22 日
- 2) 渡辺孝一: インプラントを含む補綴物の材料力学的視点. 平成 20 年度社団法人日本補綴歯科学会関越支部生涯学習公開セミナー, 新潟, 2008 年 11 月 30 日
- 3) 渡辺孝一: ラット骨内チタン表面の初期反応. 平成 20 年度日本歯科理工学会中部支部夏期研修会一般講演, 岐阜, 2008 年 8 月 22 日

【受賞】

- 1) 川口峻範, 木村勇雄, 柄崎和彦, 高橋真記, 田中孝明, 谷口正之, 金谷 貢: 抗菌剤含有ヒドロキシアパタイト中空球状粒子被覆チタンインプラントの作製. 化学工学会関東支部学生賞銀賞, 2008 年 8 月 21 日.

【その他】

- 1) 渡辺孝一, 小林正義: 走査電子顕微鏡および X 線マイクロアナライザーの原理と結果解釈の基本. 新潟大学高度技術研修, 新潟, 2008 年 9 月 25 日

予防歯科学分野

【著書】

- 1) 宮崎秀夫: 口臭が気になる. 口腔乾燥症の臨床 (安細敏弘, 柿木保明編著), 140-143, 174 頁, 医歯薬出版, 東京, 2008.

【論文】

- 1) Deguchi T, Yoshihara A, Hanada N, Miyazaki H: Relationship between mandibular inferior cortex and general bone metabolism in older adults. *Osteoporosis Int* 19: 935-940, 2008.
- 2) Amarasena N, Yoshihara A, Hiroto T, Takano N, Miyazaki H: Association between serum calcium and periodontal disease progression in non-institutionalized elderly. *Gerodontology* 25: 245-250, 2008.
- 3) Hiroto T, Yoshihara A, Ogawa H, Ito K, Igarashi A, Miyazaki H: Salivary spinability and periodontal disease progression in an elderly population. *Arch Oral Biol* 53(11): 1071-1076, 2008.
- 4) Furugen R, Hayashida H, Yamaguchi N, Yoshihara A, Ogawa H, Miyazaki H, Saito T: The relationship between periodontal condition and serum levels of resistin and adiponectin in elderly Japanese. *J Periodontol Res* 43: 556-562, 2008.
- 5) Kamoda Y, Uematsu H, Yoshihara A, Miyazaki H, Senpuku H: Role of activated natural killer cells in oral diseases. *Jpn J Infect Dis* 61(6): 469-474, 2008.
- 6) Otani N, Hamasaki T, Soh I, Yoshida A, Awano S, Ansai T, Hanada N, Miyazaki H, Takehara T: Relationship between root caries and alveolar bone loss in the first wet-rice agriculturalists of the Yayoi period in Japan. *Arch Oral Biol* 54: 192-200, 2009.
- 7) Matsumoto S, Ogawa H, Soda S, Hirayama S, Amarasena N, Aizawa Y, Miyazaki H: Effect of antimicrobial periodontal treatment and maintenance on serum adiponectin in type 2 diabetes mellitus. *J Clin Periodontol* 36: 142-148, 2009.
- 8) Yoshihara A, Deguchi T, Hanada N, Miyazaki H: Relation of bone turnover markers to periodontal disease